

## 災害ボランティア活動報告(No.33)

**活動場所:**宮城県亙理郡山元町作田山（被災農家：斎藤様の農地）

**活動内容:**今回は、総勢 41 名で稲の苗床を作るためのビニールハウスのアンカー付けと、ビニール張の作業を手伝いました。ビニールハウス 5 棟の骨組みは出来ていたので、その骨組みを地面に固定するアンカーを取り付けます。斎藤さんはねじりん棒と言っていたが、50cm 位の太い螺旋状の鉄のアンカーです。キャンプの時テントを固定するペグの巨大版みたいなものです。

ですが地面が固くスコップで掘って取り付けるのですが、なかなか力仕事で作業が進まず、斎藤さんが電動の穴掘り機を持ってきてくれて作業がはかどりました。やはり道具を上手く使わないといけませんね。

ビニール張は、カーテンレールのレールの巨大版が骨組みになっているので、そこにギザギザにバネになっている針金をビニールを当ててはめ込んでいきます。

ビニールハウスのビニール張は初めてだったのですが、良く出来ていると感心しました。時間的に一段目までしか出来ず、後は午後に来られたハンズオン東京さんにバトンタッチしました。

ハンズオン東京さんもボランティア団体で何度か斎藤さんの所でお会いしています。アメリカで出来た団体さんで、ハンズオン東京さんは日本駐在の奥さんや外交官の方など多彩な外国人の方々だそうです。(斎藤さん談) 日本支部ですので日本人の方々が過半数ですが。外国の方々もボランティアで頑張っているのに、3 年経ってボランティアが激減している現状は嘆かわしい限りです。

**参加者:**メンバー（木下史典、森本次郎、岩瀬清、榎戸孝行、広瀬義積、本田健）、一般参加、ネット参加の皆様。(合計 41 名)

**活動報告:**春休み『親子で震災ボランティア体験』in MIYAGI、ボランティアバス第 13 弾です。今回も『ボランティアの成果が見える、足跡の見える支援』を心がけているため、斎藤様の農地に行かせて頂きました。

**行程:**総勢 41 名で、3 月 28 日金曜日の夜に、千葉県四街道発で、西船橋駅、錦糸町：錦糸公園経由で現地山元町へ向かいました。

3 月 29 日土曜日、今回も朝食を吉野家で取りました。安いし早朝から営業しているのはここだけです。その後、コンビニに寄ってから、いつもの建物の保存が決まった旧中浜小学校を視察しました。遺構として残すことになったのは、ここだけが死亡者がいなかったからだそうです。

前回、斎藤さんに教えて頂いたのですが。旧中浜小学校に娘さんが先生をしていて、震災当時は育児休暇で実家に来ていたので助かったそうです。震災で崩れた小学校を見ると、育児休暇中で良かったと思うと共に斎藤さんご夫妻との縁を感じずにはられません。



※今回参加された 41 名の皆さんの集合写真です。(ビニールハウス前にて。)

※下段写真：左がねじりん棒を地面に固定させている処です。螺旋状になっているのでパイプで回しながらねじ込んでいます。

右がビニールハウスの骨格にビニールを張る作業をしています。カーテンレールのレールの巨大版みたいなのが骨格になっており。そこにビニールを張り、ギザギザのバネになっている針金をねじ込んで張り付けます。



左写真：ハンズオン東京の皆さんです。



※上段の写真：左は今回、斉藤さんがイチゴ農家から出荷できない小さいいちごを貰ってきてくれ、私たちに振る舞ってくれました。大変美味しかったので、その農家から（トイレをお借りしたことも有り。）イチゴを買っちゃいました。本当に美味しかったです。山元町がイチゴで有名なのも分かります。シールには『感謝の心復活へ』と書いてありました。地元の皆さんの復活へに向けた心意気が感じられます。

右は、斉藤さんがボランティアの皆さんのために用意して下さった。おみやげです。パブリカなど、わざわざ私達のためにビニールハウスに残していたものだそうです。いつものことですが感謝に堪えません。

作業が終わり、一路帰路へ。

いつも通りスーパー銭湯（ゆっぽ）に入り、さっぱりしてから帰りました。今回は帰りの総括は、皆さん何時も以上に、また来たいと言って下さいました。

嬉しい限りです。

小さな団体で、小さな力しか有りませんが、皆さんのお力を借りて、大きな力にしていきたいです。そうすれば、もっともっと多くの方々のお役に立つことが出来ます。ぜひ、メンバーになって下さい。そう思う私でした。

今回、ご参加された皆様、お疲れ様でした、そして、本当に有り難うございました。

今後とも宜しく願いいたします。

以上